

# 道徳（人権）学習指導案

1 主 題 共に生きる

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい

自他の違いを認め合い、互いの人権を尊重する態度の育成する。

4 指導計画

(1) これまでの学習

- ・道徳 クラスの子のことを知ろう . . . . . 1時間
- ・道徳 自分を知ろう . . . . . 1時間

(2) 現在の学習

- ・道徳 感じ方って人それぞれ (選択理論でアクティブラーニング)  
. . . . . 1時間 (本時)

(3) これからの学習

- ・道徳 ネット社会の歩き方 (コンピュータ教育開発センター) . . . 1時間

5 本時の学習

(1) 目標

物事の捉え方や感じ方は、人によって違うことを理解させる。その違いを認識したうえで、どのように他者と接すればよいか、どのように対処したらよいかを考えさせる。

(2) 普遍的な学習のテーマ

人権の尊重

個別人権課題名

インターネットによる人権侵害

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 「そんなつもりで言ったのではないのに」、「伝わっていると思ったのに誤解された」という経験がないか考える。	○過去の失敗等、自分の体験に照らして実感できるようにする。
2 6枚の画像を見て、見え方・感じ方の違いを認識する。	○率直な意見を書くよう指示する。友達の見聞き書き込むようにする。
3 言葉の捉え方の違いを認識する。 ・言葉を絵にする。 ・描いた絵を見せ合い、同じ部分と違う部分を確認する。 ・なぜ違いが出たのかを考える。	○質問や相談はしないように、自分の受け取った情報のみで絵にする。 ①
4 メールを読んで、どんな気持ちになったか発表する。	
5 友達に「来てほしい」というメールを送るとき、どんなメッセージにしたら誤解なく伝わるか考える。	○受け取る側の気持ちを意識したメッセージを考えさせる。 ③
6 この授業を通して、気付いたことやこれからの生活に生かせることがあるか考える。	○物事の捉え方や感じ方は、人によって違いがあるということに気付き、意見を共有できるようにする。 ②

(4) 評価

- ・物事の捉え方や感じ方は、人によって違いがあるということを理解できたか。  
(知識的側面) ①
- ・本時の学習を通して学んだことを、自分の生活の中で生かしていこうとする意欲をもつことができたか。  
(価値的・態度的側面) ②
- ・受け取る側の気持ちを意識したメッセージを考えることができたか。  
(技能的側面) ③